

「宝島の史跡をたずねて」

1 学校名

十島村立宝島小・中学校及び宝島社会教育学級

2 人数

宝島社会教育学級生 10名

3 日時・場所

平成30年8月24日 鹿児島郡十島村宝島

4 活動に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

(1) 名称・時代

- ・ 平家見張所跡（へいけみはりじょあと）鎌倉時代
- ・ 大池遺跡（おおいけいせき）縄文時代
- ・ イギリス坂（いぎりすざか）江戸時代

(2) 特徴

- ・ 平家見張所跡

平安時代（1185年）壇ノ浦の源平合戦に敗れた平氏一門の一部が宝島に漂着し、之等の一族は源氏の追討を恐れて見張所を構築したことが伝えられている。

島の南端の荒木崎灯台があるこの地は、地元では城之山と呼ばれている。

- ・ 大池遺跡，浜坂貝塚

梅雨時期だけ水が溜まる大池で、雨乞いの儀式が行われていたとされており、神聖な場所として現在も大切にしている。周辺に貝塚があり、宇宿下層式から上層式にいたる土器や九州の轟式土器と関連がある土器が見つかっている。

近くの浜坂貝塚では、本土系の黒川式土器や夜臼式土器が出土し、先史時代からの南北交流の跡がうかがえる。

- ・ イギリス坂

文政7（1824）年、宝島にイギリス船が漂着し、牛を奪おうとした乗組員を島民が殺害した。浜坂貝塚近くのその現場は後、「イギリス坂」と呼ばれた。この事件により幕府は、翌年「異国船打払令」を命じた。

参考文献 下野敏見 『南日本の民俗文化史3』南方新社，2009年。

5 保存会や地域との連携の具体

宝島小・中学校では毎年、職員研修において、夏季休業中に島内の史跡巡りを行っている。職員の異動が多い本校では、恒例の活動である。今回、本島の社会教育委員と連携して、社会教育学級も兼ねて「史跡巡り」を計画したところ、平日の日中ではあったが、地域の方々の参加もあった。講師は、普段から観光客に島内観光のお世話をされている現業職の方をお願いした。

6 活用の取組の工夫した点

職員研修としての史跡巡りであったことから、今後、職員の教科指導での活用や、児童生徒の課題解決学習の指導において本取組の成果が発揮されると期待される。

7 取組の様子（史跡巡りの実際）



平家見張所跡



大池



大池遺跡の出土物



イギリス坂

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【社会教育学級参加者】

- ・ 宝島に住んでから初めて、じっくりと島内の史跡を見ることができてよかった。
- ・ 宝島の様々な深い歴史を知ることができてうれしかった。
- ・ 昔の人々の食生活が豊かであったということで少しほっとした。
- ・ 久々の島内巡りがとても新鮮だった。

【教員】

- ・ 古代の遺跡をはじめ、歴史の各時代の重要な遺跡や史跡が、宝島に現存することにますます研究を進めたいと思った。
- ・ 異国船打払令が出されたことに宝島が関わっていたことに驚いた。
- ・ 今後の教科指導に生かせる教材が豊富であることに気付き、ますます調べたいと思った。
- ・ 身近な地域のフィールドワークを児童生徒にも実施させたい。